

⑨ 日本国特許庁 (JP)
 ⑩ 公開実用新案公報 (U)

⑪ 実用新案出願公開

昭55—31610

⑫ Int. Cl.³
 B 41 J 3/20

識別記号
 105

府内整理番号
 2107—2C

⑬ 公開 昭和55年(1980)2月29日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 感熱印字ヘッド

⑮ 実願 昭53—113570
 ⑯ 出願 昭53(1978)8月21日
 ⑰ 考案者 竹田勝美

⑲ 実用新案登録請求の範囲

絶縁性基板上に発熱抵抗体と、それに接続された共通電極および個別電極とを形成してなるものにおいて、個別電極の幅をその長さと比例関係にあるように形成したことを特徴とする感熱印字ヘッド。

図面の簡単な説明

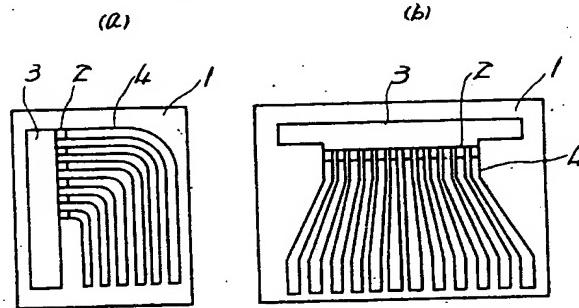
第1図a, bは從来の感熱印字ヘッドの平面図、

川崎市幸区堀川町72東京芝浦電気株式会社堀川町工場内

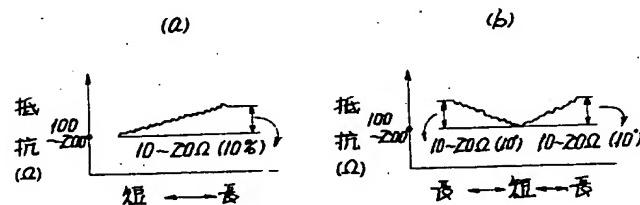
⑱ 出願人 東京芝浦電気株式会社
 川崎市幸区堀川町72番地
 ⑲ 代理人 弁理士 井上一男

第2図a, bはその個別電極リード線の長さと抵抗値との関係を示す図、第3図a~eは本考案の感熱印字ヘッドの製造工図、第4図a, bは第3図cにおける円A, B部分の拡大図である。
 1……絶縁性基板、2……発熱抵抗体、3……共通電極、4……個別電極、5……発熱抵抗体用膜、6……個別電極リード線用膜、7……個別電極リード線、8……保護膜。

第1図

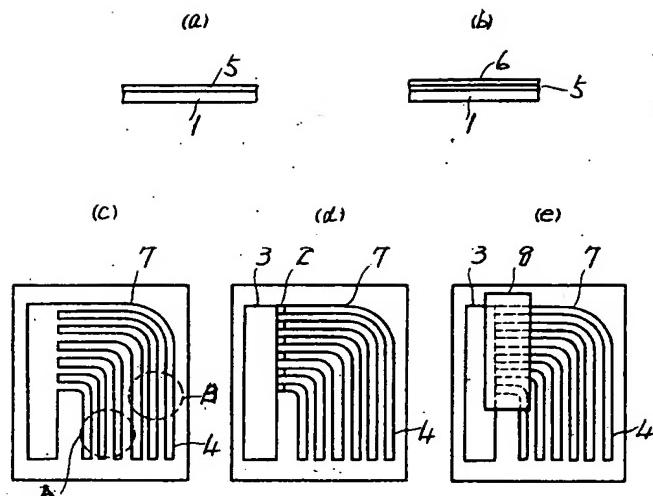


第2図

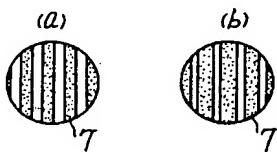


実開 昭55-31610(2)

第3図



第4図



昭 57.7.9 発行

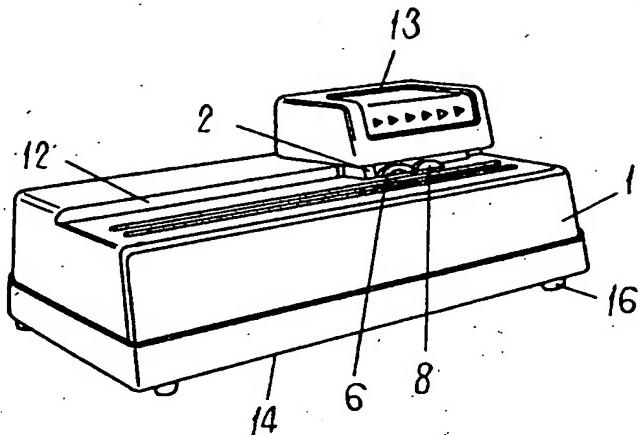
昭和53年実願第90621号（実開昭55-8146号、昭和55年1月19日発行公開実用新案公報55-82号掲載）については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int. Cl. ³
B 43 M 7/00 識別記号 廷内整理番号
6863-2C

記

1 図面を次のように補正する。

第1図



昭和53年実願第113570号（実開昭55-31610号、昭和55年2月29日発行公開実用新案公報55-317号掲載）については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int. Cl. ³
B 41 J 3/20 識別記号 廷内整理番号
6763-2C

記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑦実用新案登録請求の範囲

絶縁性基板上に発熱抵抗体と、それに接続された個別電極リード線とを形成してなるものにおいて、長い個別電極リード線の幅を短い個別電極リード線の幅より広く形成したことを特徴とする感熱印字ヘッド。

(13)